

平成21年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】  
大学教育推進プログラム 審査結果表

機 関 名	関西大学		
取 組 名 称	三者協働型アクティブ・ラーニングの展開		
取組学部等	全学		
整 理 番 号	A32086	取 組 期 間	3年間
事 項	双方向型学習, T A, S A, 初年次教育, F D		

当該取組は、本事業の趣旨に照らして審査を行った結果、教育の質の向上への大学等の対応が優れているとともに、取組の実現性、一定の成果と今後の展開についても期待できると評価できる。

**[特に優れた点]**

- ・ 教学支援体制を検証し、再構築に努めている点は評価できる。
- ・ 多人数の学生に主体的学習を保証する教育支援モデルとして可能性が期待できる。
- ・ さまざまな学生スタッフを育成・配置することにより、自発的学びの姿勢を喚起する取組は、大規模大学でのPBL型授業の実現に効果的である。

**[改善を要する点]**

- ・ 初年次の特定授業のみならず、方法論や成果を各学部・学科の教育へどのようにつなげ、広げるか、また、評価方法についても更に明確にすることが必要である。
- ・ 本取組に関する一般の教員の理解が課題であり、またLAに求められる資質とその評価を明らかにする必要がある。
- ・ 研修についても、どのような研修をどの程度の時間をかけて行うのか、更に具体化する必要がある。アドバイザースタッフについても同様である。